

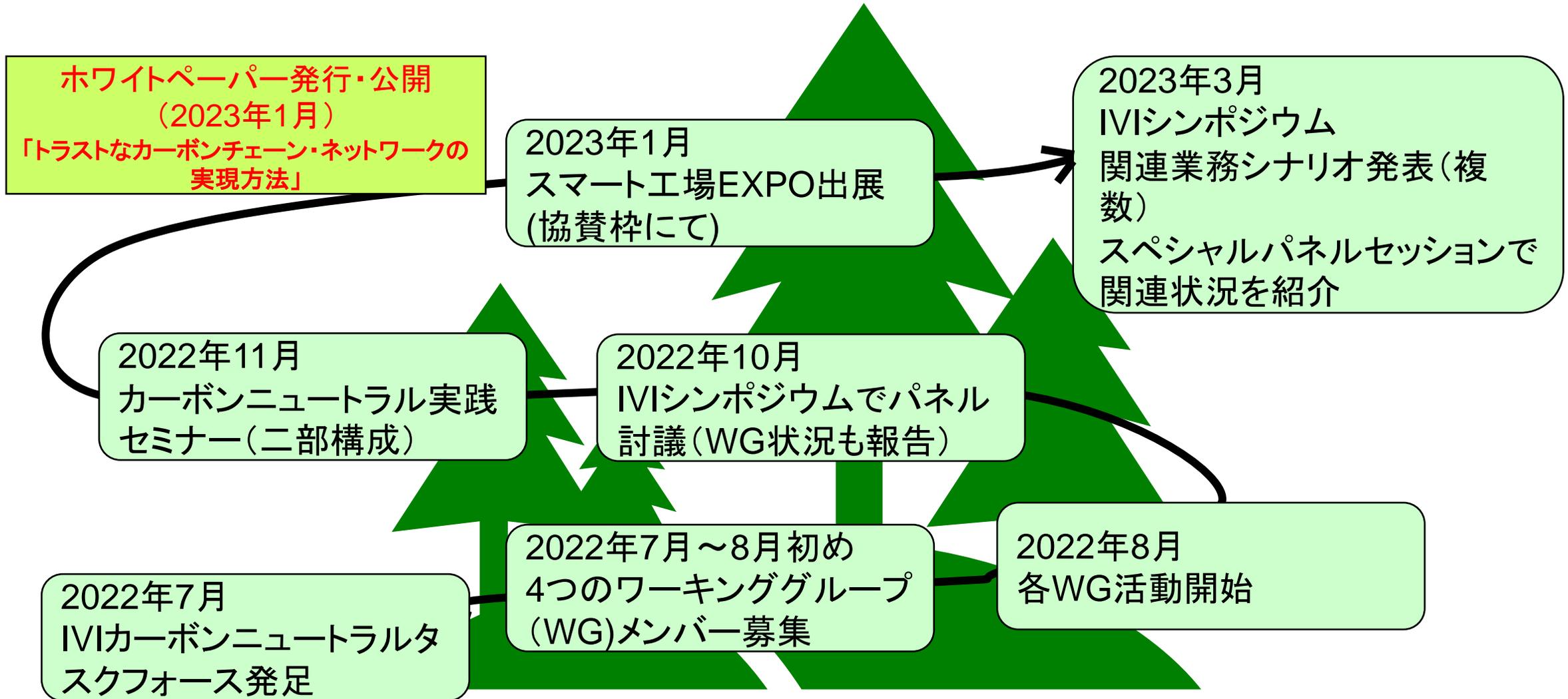
スタートアップセミナー2023

カーボンニュートラル実証実験

カーボンニュートラルタスクフォース主査
山本 博士 (IHI)

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ

昨年度の振り返り





CFP算定に供給網活用

IVI、来年度本格実証

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ（IVI、西岡靖之理事長）は、サプライチェーン（供給網）の企業間でデータを交換し、製品単位の温室効果ガス排出量（カーボンフットプリント＝CFP）を算定する仕組みについて、2023年度から本格的な実証実験に入る。中小企業でも簡便に算出できる仕様のため、各事業者や製造業全体でのカーボンニュートラル（CN、温室効果ガス排出量実質ゼロ）促進に役立てる。

このCN支援アプリ「基盤としてIVIが運営するケイション」は「つながり」を開始した企業間における工場」のデータ連携プラットフォーム



中小企業でも簡便にCFPを算出できる仕様にする（イメージ）

ク（CIOF）の枠組「流通できる」カーボン活用。データを提供・利用する場合の乱用や不正を防ぐため、CIOFでは、そのつど契約を交わし実行する方式をとる。

22年度内にアプリ開発を終え、会員企業に無償公開する。会員以外には有償でライセンス提供し、自社でのカスタマイズ（個別対応）も可能という。中小などには第三者のパートナー企業によるサポートも想定する。IVIでは製品・サービスのCFPが正しく、信頼性の高い形です。

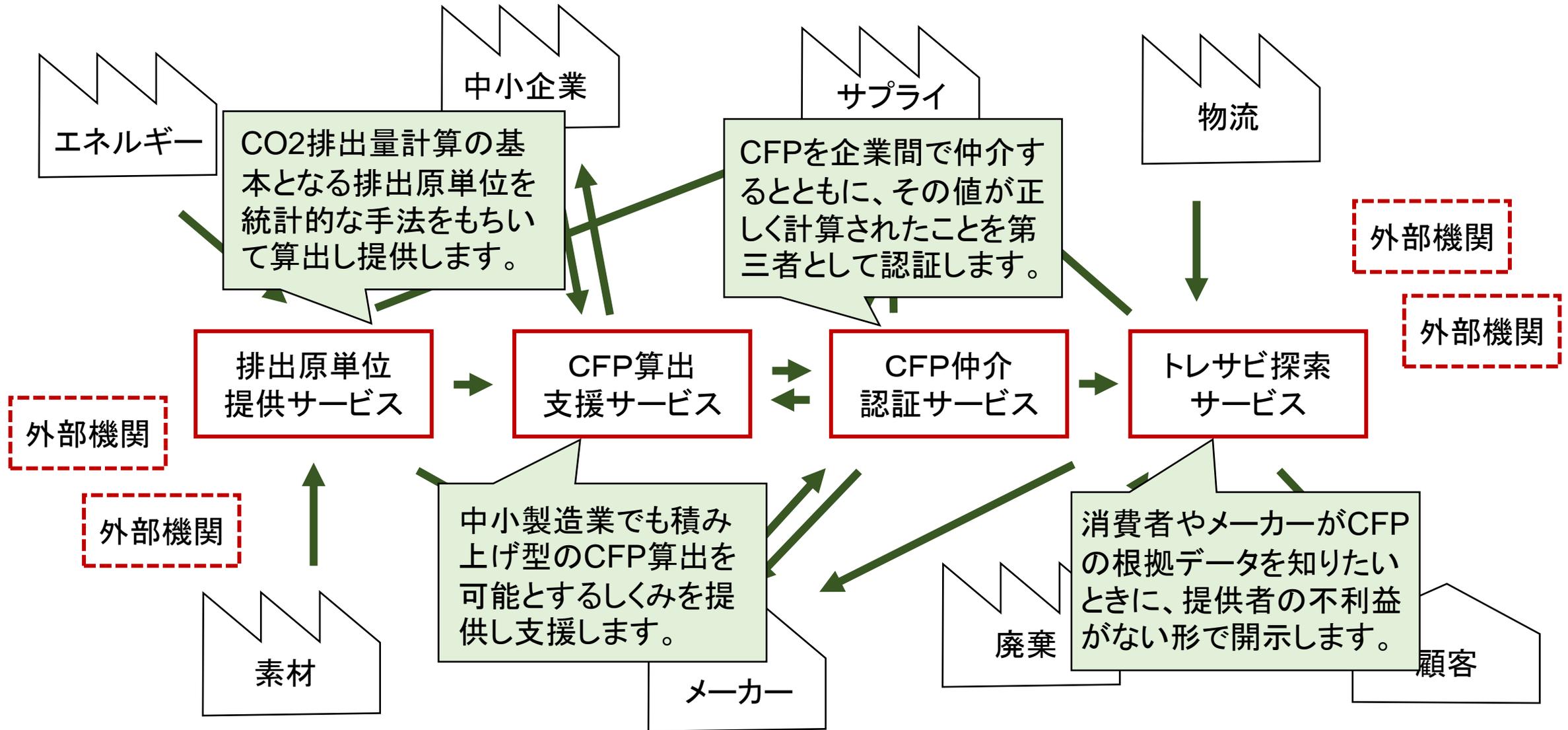
流通できる「カーボンチェーン・トラスティング」の構築を提唱している。その際、データを企業間で流通させるには①計算の基本となる排出原単位の算出・提供②CFP算出支援③CFPを企業間で仲介し、その値が正しく計算されたことを第三者として認証④消費者やメーカーがCFPの根拠データを知りたいときに開示するトレーサビリティ（履歴管理）探索の4種類のサービスが必要になるといふ。

- IVIでは、2022年3月にカーボンニュートラル宣言(カーボンニュートラルは製造業のOSとなる)をしていらい、タスクフォースを立ち上げ具体的な展開をしてまいりました。その成果は、国内および海外でも評価されており、社会実装へむけての次なる段階に入ります。すでにこの課題を俯瞰したアーキテクチャーとしてCTN(トラストなカーボンチェーンネットワーク: Carbon Chain Trusted Network)としてまとめ、このフレームワークに従い、本年度は、より本格的な実証実験を行う予定です。
- IVIが提案するCTNでは、企業間でカーボンフットプリント(CFP)を連携するためのトラストなデータ流通基盤として、CIOFが活用できます。CIOFは新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の支援で開発が完了し、CIOFパートナーズによる運用が始まっています。そこで、CTNをCIOFの主要なユースケースとして位置づけ、さらには、中小企業を含む製造業のサプライチェーンにおける他のデータ流通への展開を見据えたしくみとして展開することといたしました。

注)IVI-CTN(トラストなカーボンチェーンネットワーク)



CNのための4種類のサービスカテゴリ



■ユーザー企業のゴール

- ✓ 社内のCO2排出量がGHGプロトコルスコープ3のレベルで把握できる。
- ✓ 特定の製品あるいは製品群のCFPが月単位、あるいは日単位で算出できる。
- ✓ 得意先との間で特定のロットのCFPを共有しその内容の相互認証ができる。

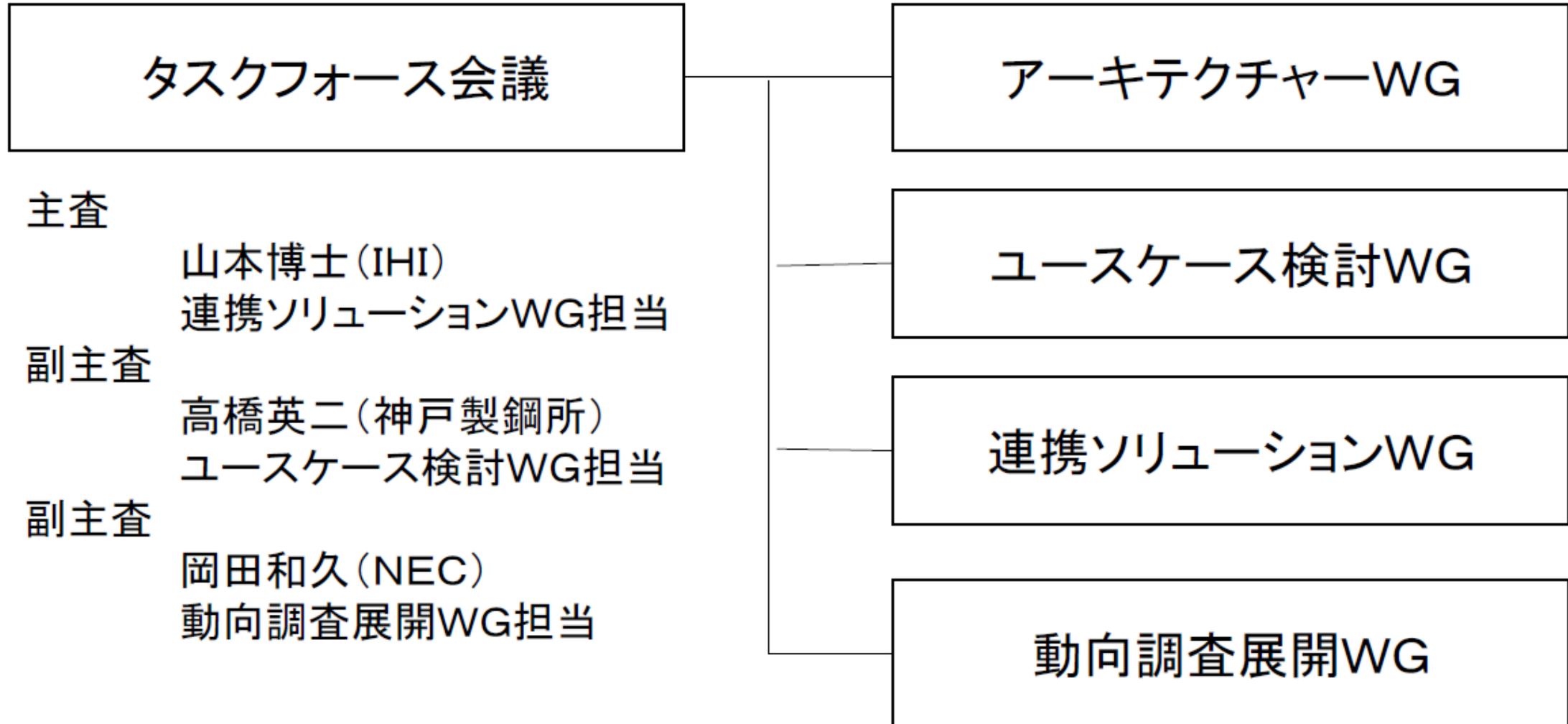
■パートナー企業のゴール

- ✓ 自社のソリューションをCIOFに対応した他社アプリとデータ流通が可能となる。
- ✓ CFP算出サービスおよびCFPデータ流通の新たなソリューションを開発できる
- ✓ CNおよびCFPの課題に対するインテグレーションのノウハウと実績が身につく。



- CFP算出実証実験企業募集(最大10事業所)
- CFP連携実証実験企業募集(最大5事業所)
- CIOF実証実験企業募集(2組最大5事業所)

5月	メンバー募集
6月	キックオフ
7月	基本設計、実証実験シナリオの確定
9月	プロトタイプ実装、効果検証の開始
12月	効果検証および成果1次レポート
2月	報告書作成、フィードバック
3月	成果発表、海外展開等



注)アーキテクチャーWG担当は西岡靖之



本年度のTFおよび実証実験の進め方

アーキテクチャー＆
連携ソリューション
WG

目標:

カーボンニュートラル支援アプリ, CIOFを使った**CFP流通のトラスト**
な仕組みを検討・構築する

動向調査展開WG

目標:

ユースケース検討WGやアーキテクチャー・連携ソリューションWG
で検討される具体的なユースケースやソリューションが、世の中で
検討されているCO2排出量の情報交換のルールに沿ったものである
ようにするため、**さらに幅広く他団体と連携して動向調査する**

ユースケース検討
WG

目標:

2021年度・2022年度の業務シナリオWG活動での具体的なユース
ケースを, カーボンニュートラル支援アプリやCIOFを使って, **世の**
中に先んじて実証実験へつなげる

実証実験CIOFパートナーズと業務シナリオWGが連携して行っていきます。

そのなかで、IVIカーボンニュートラルタスクフォースがその中核となって動いていきます。

IVI -CTN (トラストなカーボンチェーンネットワーク) 実証実験 へ是非ご参加ください



ご清聴ありがとうございました。

